

2026 年度「応用ゼミナール」ミニシラバス（国際理解学科）

担当者名	生田 祐子
授業のテーマ	英語で学ぶグローバルイシュー（紛争・難民・平和維持）
授業の内容	この授業では、映画を通じて世界の現状を学び、問題解決に向けた考えを英語で表現する力を養います。国連の活動や国際協力の現場が描かれている映画リストから興味のある作品を選び、その社会的・国際的な背景や意義を考察し、自分の意見を日本語と平易な英語で発表することが主な課題です。希望者には、東京にある国際機関や NGO を訪問し、インターンシップに参加する機会も提供します。授業を通じて、国際社会で働く関心を高め、そのための基礎力を身につけることを目指します。
サブテキストなど	授業内で資料を配布します。映画は図書館と Language Garden で視聴可能です。
お勧め対象	実践的な英語力を身につけたい学生や、国際協力や教育分野（英語・社会・日本語教師）に関心のある学生に特におすすめです。ニューヨーク国連研修参加を目指している学生にも役立つ内容です。

担当者名	大森 一三
授業のテーマ	文を書くための鍛錬ゼミ——エッセイと研究論文を手がかりに学ぶ——
授業の内容	MIT の最新の研究によれば、生成 AI の多用は人間の思考能力と文章作成能力に甚大な悪影響を与えることが指摘されています。こうした事態を受け、本ゼミでは、生成 AI から離脱（デトックス）し、自力で思考し、文章を書くための道場を開催します。古今東西のエッセイや研究論文を中心に、たくさんの文章を読み、議論し、書いてゆく実践を行ってゆきます。多くの文章を自力で書く【厳しい鍛錬】に挑戦したい方はご参加ください。
サブテキストなど	授業内で指示します。
お勧め対象	<ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI を使わずにサバイバルするための思考力と文章執筆能力を鍛えたい方 ・日本語による文章（論文、エッセイ等）をたくさん読み、議論し、書くことに激しい苦痛を感じない方 ・思想や宗教、文学や詩は「大切だ」と心から思える方

担当者名	久保庭 慧
授業のテーマ	世界遺産を通じて「世界」を見る
授業の内容	皆さんの中には、世界遺産の映像や写真を見たり、実際に世界遺産を訪れたりしたことのある人は多いのではないかと思います。他方で、世界遺産は見て・訪れて楽しいだけのものではなく、社会を映す鏡でもあり、世界遺産を通して実に色々なものが見えてきます。このゼミでは、世界遺産について書かれた基本的かつ比較的読み易い本を全員で読み進めながら議論し、世界遺産の華やかな側面だけでなく、負の側面にも光を当て、そこから見えてくる社会の様相を眺めてみたいと思います。その上で、ゼミの後半では、実際の世界遺産候補となる物件を題材に、世界遺産登録の可否を全員で決定する模擬世界遺産委員会を行います。意欲ある方の参加をお待ちしています。
サブテキストなど	ゼミ内で適宜指示します。
お勧め対象	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化」や「世界遺産」といったものを通じて社会を眺めてみたい方。 ・本や資料を丁寧に読み、それを他の人に伝えたり議論したりする技能を身につけてみたい方。 ・世界遺産の話題に限らず、皆で議論したり対話したりするのが好きな方。 ・単純に世界遺産に関心があって、もっと深く勉強してみたい方。

担当者名	佐々木 優
授業のテーマ	ソーシャルビジネスを通じて社会課題を考える
授業の内容	現代社会の課題と解決策について、「経済×ビジネス」の視点から考えます。授業の前半ではソーシャルビジネスに関する文献を読み、社会課題の原因やポイントを理解します。後半では特定の社会課題について議論し、その解決策になるようなビジネスプランをグループで検討・発表してもらいます。なお、ビジネスプランの発表では、実際にソーシャルビジネスを実践している企業の方に参加いただき、意見交換してもらう予定です（企業の方の参加については調整中）。
サブテキストなど	関連する文献は授業の中で紹介します。また、ゼミで活用する文献は使用する部分のコピーを教員が用意する予定です。
お勧め対象	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会が抱える課題やソーシャルビジネスについて強い興味・関心がある方 ・途上国開発や貧困問題、農業・食料問題、環境問題などにとても関心がある方 ・グループワーク／ディスカッションやディベートに積極的に取り組める方で、かつプレゼンテーションのスキルを向上させたい方 ・開発分野もしくは社会貢献に携わる企業との交流に興味のある方

担当者名	本浜 秀彦
授業のテーマ	「悲劇」を解剖する!
授業の内容	世の中は物語であふれています。本ゼミでは、「悲劇」の古典的な物語「ロミオとジュリエット」を中心に取り上げ、物語の構造や、解釈、メディア変換などによる物語の更新について学びます。具体的には、シェイクスピアの原作が、同名の名作映画や翻案作品（映画「ウェスト・サイド物語」など）で、どのように変わったかなどについて考察し、私たちにとって「物語とは何か」ということに迫ります。受講生には、映画監督や脚本家になったつもりで、現代にふさわしい新しい「ロミジュリ」の俳優のキャスティングなども考えてもらいます。
サブテキストなど	「ロミオとジュリエット」の翻訳の文庫本を教科書としますが、どの版を授業で使うかは授業開始後、教場で指示します。*金額は千円以下、デジタル版の予定なし。
お勧め対象	映画や文学やミュージカルなどの舞台が好きな人におススメです。映画を観ると眠くなる人、本を読まない人・買いたくない人にはまったくおススメできません。

担当者名	渡邊 晓子
授業のテーマ	開発人類学を学ぶ：ジェンダーと教育を中心に
授業の内容	今日、国際協力をはじめとする国内外の「支援」の現場において、人類学的視点や実践がこれまで以上に求められています。そこで、本演習では、社会開発に関わる現象、特にジェンダーと教育をめぐって文化人類学の立場から検討し、地域の文脈において適切な開発の実践に向けて提案する開発人類学について学びます。 本演習の前半では、履修者複数名が既存の開発人類学に係る文献を紹介し、議論やワークをリードしていきます。後半では、映像を観た後、国内外をベースにした開発プロジェクトについて、実際にグループで考案・検討し、発表していきます。
サブテキストなど	授業内で参考資料を提供します。
お勧め対象	・国際協力、地域研究、開発や福祉、社会の仕組みなどに关心のある学生 ・周囲と協力して物事を進めていく意思のある学生 ・ディスカッションをファシリテートする力や語る力を培いたい学生 ・資料収集をしたり、検討、分析、考察する力を深めたい学生